

みつぎ便り

134号
11月号

板橋区役所みどりと公園課の花づくりグループと
エコポリスセンターの環境観察員地域自主活動グループに
所属しているボランティア団体「見次の会」です

平成29年11月1日 https://itbs-ecopo.jp/environsurvey_report/

ハゼの木

公園の木々も赤や、黄色に色づき秋の深まりを感じる季節になりました。メタセコイアが植えてある近くに、ハゼの木（写真）が3本あるのを見つけました。ハゼの木は秋になると紅葉し、赤く色づきます。ウルシの仲間です。ウルシ同様、紅葉がとてはかぶれることもありますが、初夏には花が咲き、実もなり、その実から木蝨（もくろうそく）が採取でき、和蝨燭（わろうそく）が



が作られたそうです。

木蝨は、ほかの動物性の油に比べて煙や悪臭を出さないが、高価だったようです。明治に入り、外国から輸入される安価で明るい西洋ロウソクに次第に変わっていききました。公園内には、他にも紅葉する、メタセコイア、サクラ、ケヤキ、モミジ、イチヨウ等々の樹木があります。公園全体が錦に染まる夕方が特に美しくおすすめです。（圭）

山茶花（サザンカ）

花壇の花は、秋の入れ替えで新しくなって咲き誇っています。樹々は葉を落とすものが多く、何となく心細げです。そんな中でも山茶花（サザンカ）は元気で、これから当分の間は人々の目を楽しませてくれることでしょう。

見次公園には、何カ所かに彩りの異なるサザンカが咲いています。でも、椿なのかサザンカなのか、その区別はなかなかつきにくいですね。その違いはサザンカが秋から冬にかけて咲くのに対して、椿は初春に花をつ



けます。また、サザンカは花びらがパラパラと落ちるのに対して、椿は花の形のままに落ちます。葉の形はサザンカはギザギザしているのに対して、椿はやや小さくギザギザはありません。

どちらも同じツバキ科なのでよく似ていますし、様々な形状があるようですので、必ずしもこの通りではありませんので、ご注意ください。また、サザンカ（写真）や椿には「チャドクガ」が発生することがありますので、蛾の幼虫には十分気を付けてください。（静）